（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	Yくまーず未来　春日井next（第1単位）		
○保護者評価実施期間	R7年　10月　1日	～	R7年　10月　31日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）　48	（回答者数）	38
○従業者評価実施期間	R7年　10月　1日	～	R7年　10月　31日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）　4	（回答者数）	4
○事業者向け自己評価表作成日	R7年　11月　12日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幅広い年齢と発達段階に合わせた支援	小学生から高校生まで、幅広い年齢のお子さまが利用しています。 年齢や発達の段階に応じて個別に支援内容を調整し、異年齢での関わりを通して学び合える環境づくりを大切にしています	来年度からは年齢幅をある程度揃える予定でいるため、現時点では異年齢ペアで行う活動内容や、年上の児童が年下の児童のために活動内容を考えるなどすることでより関わりを深めている。
2	外出や季節行事を取り入れた多様な活動	休日には外出活動を多く取り入れ、公園・施設見学・地域イベントなどで社会経験を広げています。 また、四季を感じられる活動（お花見・水遊び・収穫・冬の制作など）を通して、自然や生活の変化を楽しみながら豊かな感性を育てます。	今後も季節や近隣との関わりを定期的に取り入れていく
3	地域・家族・法人とのつながりを大切に	地域との交流や、近隣の就労支援事業所との連携を通して、将来を見据えた支援を行っています。 親子遠足や企業との合同イベント、法人内事業所との交流なども実施し、子どもたち・保護者・地域が一体となって成長を支えています。	今後も季節や近隣との関わりを定期的に取り入れていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	年齢・発達の幅が広いことによる活動人数の偏り	幅広い年齢層に対応しているため、年齢や発達段階に応じて活動を分けると、どうしてもグループの人数が少なくなり、活動の多様性や盛り上がりに差が出ることがあります。	来年度からはある程度の年齢幅が同じになるように利用を調整している
2	個別支援と集団活動のバランス	個別支援を重視する反面、人数が少ないグループでは集団での交流や経験の幅を広げる機会が制限される場合があります。	日程をわけて、集団での活動個別での活動も行えるように調整している。また、個別支援を行う時には30分と決めることで利用時に個別支援のみで終わることが少ないようにしている
3	外出・イベント時の調整	年齢や特性に応じた安全管理や対応を行う必要があり、大人数での外出やイベントでは調整が難しくなることがあります	固定利用日の方が多いため、同じ曜日でも日程を分けるなどして安全確保を心がけている。